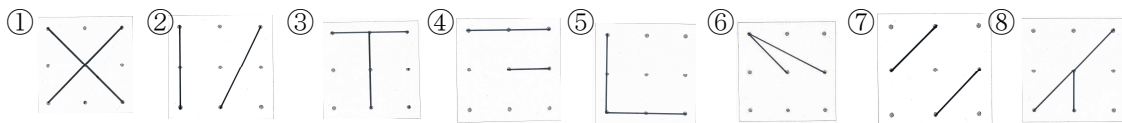


## 見えるグループの共通点は何かな？ 視点2, 4

1. 単元名 垂直・平行と四角形（4年生 11月）

### 2. 改善の動機・意図

多くの情報が入っている教材だと、児童は見分ける視点が絞れないであろう。そこで、見分ける視点を絞って共通点を考えられるように、2直線だけの教材を用いることにした。9つのドット入り用紙を用いて、さまざまなパターンの2直線を作った。2直線を提示する際、「共通点は交わっているものだ」と自信を持って答えてしまうような順で提示し、その後、児童の予想と結果が反する2直線を提示することで、予想が覆され、驚きや疑問が生じるであろう。そこから、共通点をもう一度考え直し、全てに当てはまる共通点へと迫っていきける展開を考えてみた。



### 3. 授業の構想

T1 めがねをかけて2本の直線を見ると、おもしろいことが…

GT (GTにめがねをかけて、①を見てもらう) 見えます。(②を見てもらう) 見えません。

C1 くっついていないから？交わっていないから？

GT (③を見てもらう) 見えます。

C2 よし、(共通点は) 交わっているだ！

T2 (④を見せ、見えるかどうか児童にも問う) これは？

GT 見えません。←**予想が当たり、児童の考えが確信に変わる**

C3 わかった！

**<見えるグループには、どんな共通点があるのかな>** 共通点を書いてください。

T3 考えがあっているか確かめながら、続きを見てみよう。

T4 (⑤を見せる) 見えると思う人？(ほぼ全員) 見えないと思う人？(0人)

GT 見えます。

T5 (⑥を見せる) 見えると思う人？(20人) 見えないと思う人？(6人)

GT 見えません。

C4 えっ、見えないん？ ←**考えが違い、驚きや戸惑い、新たな気づきが生じる**

T6 共通点は何だと思ったの？

C5 交わっているだと思いました。

T7 もう1回新しい共通点を考えてみよう。

①から④を見て考えた共通点が⑤では当てはまったものの、⑥には当てはまらず、もう一度新たな視点で2直線を見ることになる。提示順の工夫により、常に児童は予想し続けられ、意欲的に共通点へと迫っていきける。

C6 共通点は、直線が同じ長さなんだと思います。90° だと思います。直角があると思います。

アルファベットに見えます。・・・

次の「平行」の学習でも、⑦⑧等を提示し、同じように共通点を見つけさせる。児童は共通点として長さや交わり等を挙げてくるが、②④等を提示して共通点「平行」に迫っていく。

